

# 札幌の新たな可能性を広げる

大学が誕生！今回はその魅力を余すところなく紹介します。

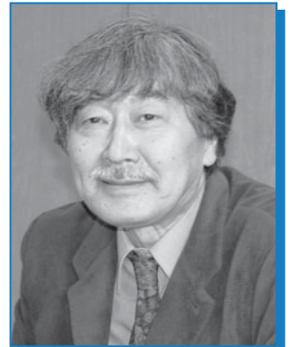
【看護】

## Nursing



〈左〉市立札幌病院、〈右〉看護学部

### デザインと看護の 連携で、暮らしの質を 追求していく



札幌市立大学学長予定者

原田 昭

(筑波大学名誉教授  
日本感性工学会会長)

本学の最大の特長である「デザインと看護の連携」——多くの方は、具体的なイメージがわきにくいのではないのでしょうか。

現代の文化は、機能や効率優先される傾向が強く、人間のため、使う人のためという視点が不足しがちです。そこで、デザインと看護という分野から、より人間を重視した社会への先鞭をつけていく、それが本学の使命といえます。

看護師が患者の立場を理解し、武骨な医療器具などにデザイン面から“心地よさ”という価値を加えられれば、困難な状況にある人に潤いを与えることができるのです。本学の卒業生が、皆さんの暮らしの質を高める日が間もなくやってくるでしょう。

「知と創造の拠点」となる  
札幌市立大学が、  
いよいよ開学を迎えます

市が設置する初の大学は、「デザイン」と「看護」という専門性の高い二つの学部で構成。それぞれ母体となるのは、「市立高等専門学校（高専）」と「市立高等看護学院（高看）」です。

近年、少子高齢化の進展をはじめ、IT（情報技術）の普及、医療技術の高度化など、高専・高看を取り巻く状況は、設立当初とは大きく変わってきました。

そうした時代の変化と、両校の将来性を見据えて、平成十三年から、学識経験者などから成る懇話会を設置し、高専・高看の大学化に関する市民議論がスタート。その後、「教育・研究の高度化に対応」「地域社会・地域産業に貢献」といった最終提言に基づき、平成十五年、市は両校を統合した四年制大学の設置を決定したのです。

### 看護学部 桑園キャンパス

中央区北11西13

JR桑園駅下車、徒歩2分

- 1 母体 昭和40年に開校した札幌市立高等看護学院
- 2 環境 北海道大学医学部附属病院などが集結する札幌の医療中心部にある
- 3 校舎 北海道の地域医療を支える市立札幌病院に直結